

# 平成27年度 妙高市特別活動部 活動報告

部長 百目鬼 弘通

## 1 研究主題

子どもたち一人一人のかかわりを重視した特別活動 ～集団づくり・仲間づくりを通して～

## 2 研究の概要

妙高市では、小・中・特別支援学校の教職員で妙高市教育研究会を組織している。特別活動部会では、春の一斉研修の部会の中で、昨年度の研究主題を継続するとともに、集団づくりや仲間づくりの活動を会員が実体験し、自校での実践、研究に繋げていく方向性を確認した。

夏及び秋の一斉研修では、国立妙高青少年自然の家から講師を迎え、学級づくり、人間関係づくりに役立つアクティビティ研修をしたり、国立妙高青少年自然の家の長期キャンプから学校の教育活動に生かせる手法や手立てを学んだりした。  
夏及び秋の一斉研修の内容等について報告する。

## 3 研究の実際

### (1) 夏の一斉研修

講師：国立妙高青少年自然の家 企画指導専門職 近藤 和久 様  
国立妙高青少年自然の家 企画指導専門職 田原 朋子 様

講演：「豊かな心」を育む体験学習

～妙高アドベンチャープログラム (MA) の実践を通して～

①MAが大切にしていること [PA (プロジェクトアドベンチャー) の3つの理念]

- ・ Full Value Contract (フルバリューコントラクト)
- ・ 体験学習法 (体験学習サイクル)
- ・ Challenge by Choice (チャレンジバイチョイス)

②ねらいは何か：

何をするのではなく、何のためにするのか

③目線、視点はどこか：

今、起こっていることを多角的にみる

④集団の発達段階はどうか。

⑤自分の指導スタイルの特徴は。

⑥意図的、継続的な計画づくり：短期計画、中期計画、長期計画

実習：学級で役立つ「人間関係づくりアクティビティ」体験

### (2) 秋の一斉研修：

講師：国立妙高青少年自然の家 企画指導専門職 近藤 和久 様

講演：国立妙高青少年自然の家主催事業「MYOKO チャレンジ2015」から学ぶ

本事業は、長期移動型統合型チャレンジキャンプである。信越トレイルを中心とした大自然の中 (行程 100Km) で、徒歩での移動及びテント泊をしながら生活し、様々な活動を仲間と協力しながら乗り越えることで「社会を生き抜く力」を育成する狙いで実施した。学校教育に生かせる方策、手立てとしては、学校行事に集団の質に応じたステージ制 (出会い～協力～自立～挑戦) を導入し、集団づくりに生かしていく。また、ユニバーサルデザインを意識して、指示や活動内容を視覚化し、何をするのかを子どもたちにはっきりさせる。

実習：合意形成を体験するアクティビティ及び人間関係づくりをねらったクラフト

## 4 成果と課題

研究主題を昨年度から継続するとともに、加えて教師自らがアクティビティを体験し、子どもたちのかかわりが促進されるよう教師の実体験を通じた実践的な研修ができた。

今後も子どもたちの人間関係を育む効果的な活動プログラムをどの場面でどのように活用していけるのかについて研修を深めていきたい。

